

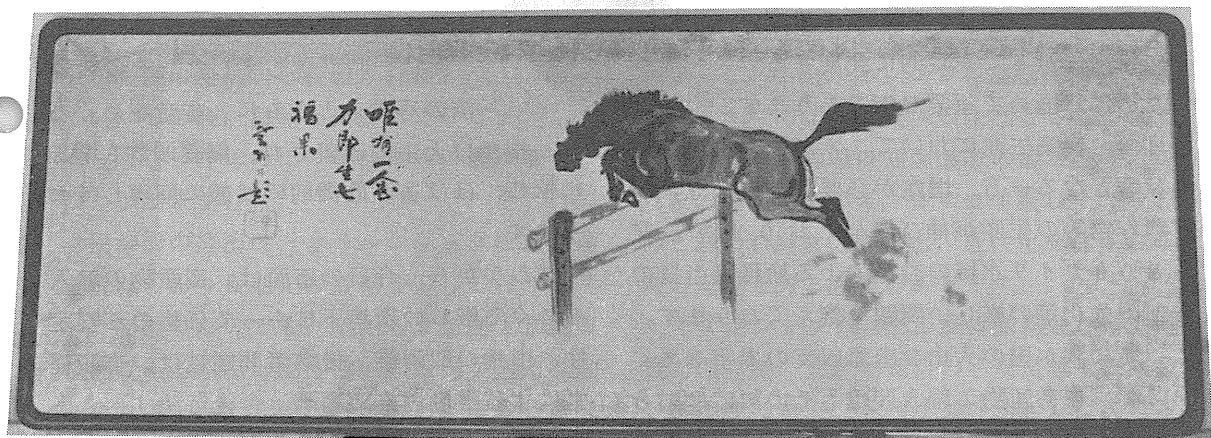


題字
宮城県知事山本壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
宮城県畜産会
電話(62-9180)

編集発行人 大石武一
定価 1部50円
印刷所 KK東北プリント

畜産の発展と畜産文化の向上を目的とした情報誌
農業生産者、畜産関係者、一般読者のための雑誌
畜産の歴史と文化を紹介する定期刊行物



うま年

鳴子町 遊佐幸平画

(宮城県軽種馬協会所蔵)

馬は力と勇気の象徴として古くから愛され、馬の絵は多くの人に親しまれてきました。この絵は、馬が柵を越えて走る姿を描いています。馬の背中に「福馬」と書かれており、馬の足元には「寅年」の年号が記されています。馬の絵は、馬の力と勇気を表現するものとして古くから親しまれてきました。この絵は、馬の絵の中でも特に有名な作品です。

もくじ

年頭にあたって	2
年頭のごあいさつ	3
水田集団転作による飼料生産組織の紹介	4
農業実践大学校の紹介	6
うま年にちなんで!!「名馬金華山号の由来について」	8
畜産団体紹介(17)	9
畜産物市況	9
賀春	10

年頭にあたって

宮城県知事 山本壯一郎

昭和53年の年頭にあたりまして皆さまのご健勝をお祈りするとともに、私の所信の一端を申し上げたいと思います。

この新しい年は、我が国の農業が将来に亘って安定的に発展するために、極めて重要な年であります。

即ち、農業生産において、米が再び過剰状態となる一方、増産が必要な麦、大豆、飼料作物等の生産が伸び悩んでおります。又200カイリ水域の設定による漁獲割当量の制限強化等の厳しい問題を抱えております。

更に我が国の大巾な国際収支の黒字をめぐって、農畜産物の輸入問題等その対応に迫られており、前途は容易ならぬものがあります。

特に当面の農政の最大課題は、米の過剰の問題であります。国は本年度から、長期的視点に立って、米の消費拡大をすすめながら、水田を他の作物に転作して需要の動向に安定的に対応しうる農業生産構造の確立を期するための米需給均衡化対策を推進することとしております。

本県においては、良質米の主産県として大変厳しいものがありますが、この機会に米を中心の本県農業を見直し、今後どうあるべきかという観点から、國の方針にもとづき、当面7,110haを転作目標として、独自の「県食糧需給総合対策」を実施して、複合農業を育てることを内容とした腰の強い本県農業を確立することといたしますので、農家の方々に十分ご理解をいただいて、ご協力を願いしたいと思います。



畜産につきましては、本県では稻作に次ぐ基幹作目として、順調に発展を遂げてまいりましたが、49年から50年にかけては所謂「畜産危機」の影響を受けて、生産は一時低迷しました。その後経済の落着きとともに、畜産をめぐる

情勢は大巾に改善され、飼養頭数も増加に転じ、ほぼ畜産危機前の状態に回復しております。

然しながら、今日の畜産は、畜産物の輸入をめぐる厳しい環境下にあって価格の不安定性、用地の取得難、後継者問題等、畜産經營による環境汚染問題等、今後解決すべき多くの課題を抱えておりますが、本県農業の中に占める畜産は、米の生産調整下において益益その比重を高めなければなりませんので、県におきましては、今後畜種ごとの条件や地域の特性を十分配慮しながら水稻との複合經營育成を主体に効率的な生産の振興を図ることとしております。

このため本年におきましては、特に飼料自給力向上のための飼料生産基盤の充実対策、経営規模拡大のための家畜導入事業や、生産団地の育成、畜産による環境汚染防止のための畜産經營環境整備事業、並びに畜産物価格安定対策等に重点をおいて、各般の施策を積極的に推進して畜産經營の安定的発展と、畜産物の円滑な供給を図ってまいる所存であります。

皆さまにおかれましても、本県畜産の健全な発展のために一層のご理解とご支援をお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

宮城県畜産会長 大石武一

新年明けましておめでとうござ
います。

昨年を振り返って見ますと、一
昨年の異常気象による大凶作、そ
して早春からの異常なほどの寒冷
から冷害の連続かと憂慮されまし
たが、その後、日照と高温によって
持ち直し一昨年の二の舞は幸いに避ける
ことが出来ました。

我が国の経済は、オイルショック以来低迷を続けており長期化の様相を呈しておりますが、農業においても、昭和53年度より農業の柱である水田は他作物への転作が強力に推進されるなど、その現状は極めて厳しい状況下にあることは皆様方ご承知のことと存じます。

さて畜産は、高度成長下と食生活の向上に支えられ、畜産物の需要は大巾に伸び、本県農業の基幹作物である米に比肩するまでに至り、畜産の位置づけは益々高くなり特に漁業専管水域200カイリ時代を迎える魚貝類蛋白が畜産蛋白に代ることにより大きく浮上つてきましたが、漁獲量の規制等国際情勢に対



応して畜産の振興が大きな課題となっております。

特に、昨今の経済状勢は、工業製品の輸出が伸び貿易収支は大巾な黒字を示し、その黒字減らしを牛肉、オレンジ等農産物の輸入拡大によって実現しようとしています

が、牛肉問題は四面楚歌の観があり、これらの問題をひかえ、ますます厳しくなるものと思われ経営の合理化、近代化を促進し経営の安定を図る必要があります。

オイルショック以来、飼料価格並びに関連資材の高騰、畜産物価格の不安定等その厳しい環境において、畜産農家の皆さんは経営を合理化され安定化にご努力されておられるこことに対し、心から敬意を表する次第です。

本会では、これら畜産情勢を十分ふまえ畜産コンサルタント事業を主体に農家の経営指導に当り、畜産の生産対策の強化、経営の安定合理化に努める所存ですので、本年も何卒よろしく御指導、ご協力賜りたくお願い申し上げ新年のご挨拶と致します。

牧場用柵には
強くて美しくスマートな
東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 027053
販売元 塚本商事機械株東北出張所
仙台市北京院二丁目1 TEL 0277771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 0246221

システム農業をクリエイトする
STAR

タフで働きものの
Mr 3000にチビの
Mr 2000が新登場



THB 2000

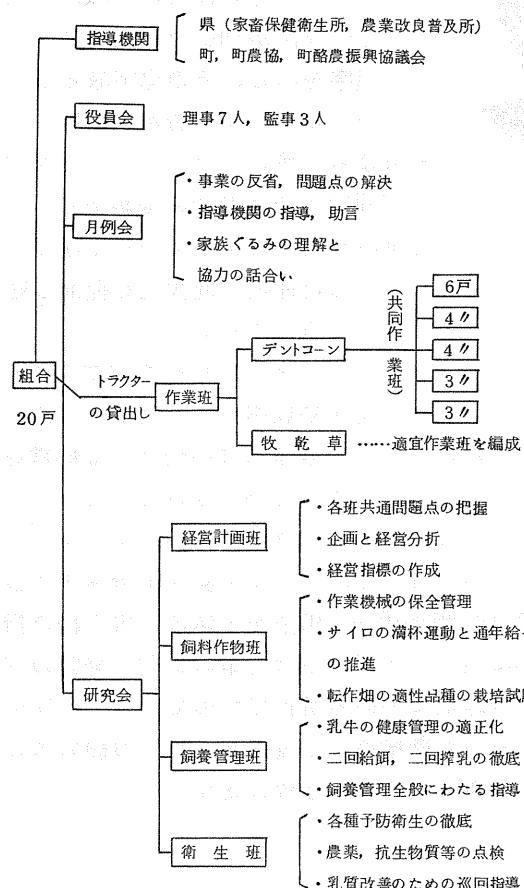
スター農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内
0222-58-7301

水田集団転作による飼料生産組織の紹介

伊具郡丸森町で、稻作転換奨励施策に対応するため、昭和46年から集団で飼料作物への転作を積極的に進めている生産組織がある。館矢間酪農振興組合（組合長 小川久夫 組合員20人）で、粗飼料の増産、効率的利用によって、酪農所得の大巾な向上がなされている。

(1) 組織構成図



1 組織の内容

- (1) 組織の目的 ・酪農経営の安定向上を期するため、機械の共同利用によって粗飼料増産を促進する。
- (2) 組織成立の動機（関連補助事業名） ・稻作転換促進特別対策事業（46～48年）緊急粗飼料増産総合対策事業（50年）
- (3) 組織成立後の推移

区分	当初(46年)	現在(51年)
農家数	20戸	20戸
主要機械の種類と台数	トラクター(1台) モア(2) 小型刈取機(17) 梱包機(1) バキュームカー(1) ハイッタ(1) ライムソア(3)	トラクター(5台) モア(6) ライムソア(4) バキュームカー(3) 堆肥運搬車(6)
トラクターの利用時間	300時間	1,200時間
飼料面積数(内水田面積)	45.6ha (16.1ha)	60.8ha (17.6ha)
乳牛飼養頭数	成牛・254頭	成牛・391頭

(4) 組織の現状

飼料作利用水田の所有形態は、組合員の個人有地および個人借地の転換畠。飼料作労働の出役方法は作業班ごとに従来の「ゆい」を拡大した方式によって各戸平等に出役した共同作業。共同作業の種類は、デントコーン牧乾草の収穫調製、収納作業。主要機械の所有形態は主に組合所有、員外利用は認めない。生産飼料は圃場が組合員の個人有地の生産のため個人利用。

画期的な畜産ふん尿処理用
めづまりのない

多板式固液分離機

- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力

株式会社 五十嵐商会
仙台市中央三丁目5番14号

TCM東洋アタッチメント



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM 東洋運搬機株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5517

2 飼料生産用機械の所有状況

区分	型式	員数	能力	所有形態
トラクター		5	22~62 PS	組合員
モアード	レシプロ	6		〃
ハイテッター		1		〃
ハイメーカー		2		〃
フロントローダー		3		〃
ハイベーラー	THB 3646	1		〃
ちん圧ローラー	180cm巾	1		〃

トラクターの管理責任体制は持まわり。組合員全員が運転できる。トラクター以外の機械は料金を徴収しない。トラクタ一年間利用時間1,200時間。

トラクター利用料金 22 PS……500円
28 PS……700円

3 飼料の生産、利用状況

(注)各組合員の合計値

所有形態	地目	利用形態	作物名(品種)	作付面積	播種		収穫量		仕向量			施肥							
					時期	10a 当り量	時期	10a 当り量	合計量	合計量	生(梱)	サイレージ	乾草	基肥		追肥			
														年月日	kg	年月日	kg		
組合員個人有	田	水耕	デントコーン(TC5号)	1.30	年月日 50.5上	kg 2.5	年月日 8中~下	kg 7,500	975,000	975,000	kg 975,000	kg 975,000	kg 975,000	kg 3,500	年月日 4中~下	堆肥 苦土石灰化成	kg 100	年月日 6上~6下	化成 30
			カブ	0.6	8下~9上	0.1	11上~4下	5,500	473,000	473,000	kg 473,000	kg 473,000	kg 473,000	kg 100	8下~9上	苦土石灰化成	kg 60	10中~10下	尿素 20
		畑	イタリコーン(イアンモス)	1.30	8下~9上	4.0	4下~6上	6,000	780,000	780,000	kg 780,000	kg 780,000	kg 780,000	kg 3,000	8中~下	堆肥	kg 30	3中~4上	尿素 20
			オーチャードグラス	0.3		4.0		8,000	24,000	24,000	kg 24,000	kg 19,200	kg 4,800	kg 1,447,500	4中~下	苦土石灰化成	kg 60	草地化成 牛尿	kg 8,000
個人借地	畑	水耕	デントコーン(TC5号)	1.93	5上	2.5	8中~下	7,500	1,447,500	1,447,500	kg 1,447,500	kg 1,447,500	kg 1,447,500	kg 3,500	8下~9上	苦土石灰化成	kg 100	6上~6下	化成 30
			カブ	1.93	8下~9上	0.1	11上~4下	5,500	1,061,500	1,061,500	kg 1,061,500	kg 1,061,500	kg 1,061,500	kg 100	8下~9上	苦土石灰化成	kg 60	10中~10下	尿素 20
		混播牧草	2.39			4.0	5上~11上	6,000	1,434,000	1,434,000	kg 1,434,000	kg 1,147,200	kg 286,800	kg 2,422,500	4中~下	草地化成 牛尿	kg 60	草地化成 牛尿	kg 8,000
合計					作付のべ面積 97.4ha		収穫量 6,195,000kg	内水田の収穫量 225,200kg	kg 6,195,000	kg 3,480,900	kg 2,422,500	kg 291,600	kg 3,64%						
					内水田のべ面積 34.9ha	35.8%			100.0%	56.2%	39.9%	4.7%							



いつもフレッシュ!!
明治牛乳
明治乳業

酪農協の牛乳!
全酪牛乳



全国酪農業協同組合連合会(全酪連)
小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38
TEL 02293-2-2211-3

農業実践大学校の紹介

大沼保

時代の強い要望に応えて昨年4月に、宮城県農業実践大学校が発足した。学部は農産、園芸、畜産の3学部に分れ、その入学資格は高卒程度以上となっており、このほか、中卒を入学資格とする高等部もある。

この学校の概要について説明しよう。

1. 設立の趣旨

本県の農業を発展させるためには、優れた農業者の育成が必要であり、特に今後は高度の生産技術と企業的な経営力・企画力、さらには組織化に対する協調性や、リーダーシップが強く要請されているので、次代を担う近代的農業経営を志す青少年に対し、農業に関する専門的技術及び経営について実践的教育を行ない、地域農業振興の中核となる農業経営者を養成するため、長い歴史と伝統をもつ、県の農業関係研修施設であった宮城農学寮、農業専修学園、高等農業研修所等を有機的・総合的に体系づけて改編し、名称を新たにし「宮城県農業実践大学校」を設立し、昭和52年4月に開校したものである。

特に特徴的な点は、農業改良普及事業の一環として連けいを深め、さらに一層学習の効果が高まるように試験研究機関とも有機的かつ総合的に体系づけることによりいわゆる「教育」と「普及」、「研究」と三位一体としてのあり方に特徴を持つ点であろう。

2. 教育目標

(1) 農業技術の高度化、経営の専門化等に対応して、近代的な農業経営を行なうに必要な技術能力、経営管理能力及び組織活動能力を開発する。

(2) 社会人としての豊かな教養と自主性を涵養し、豊かな創造力と逞しい実践力を養成する。

(3) 流動的な社会経済情勢のもとでの農業者としての幅広い視野と、全寮制による共同生活・クラブ活動を通じて集団における自己の確立と協調の精神を涵養する。

3. 教育方法

学部

(1) 試験研究機関との一体的な運営のもとに展開する

くみあい育雛用配合飼料が 4月から新しくなります

- 丈夫によく育つ……………「育雛用前期」
(餌付から6週令まで)
- 揃った発育をする……………「育雛用後期」
(7週令から産卵まで)
- より安全な育成のため………「マルM育雛用」
(7週令から10週令まで)



農協・宮城県経済連

各学部教場における専門基礎、専攻学習の基本となる学部共通科目について、入学から概ね3ヵ月間は本部(名取市農業センター内)において集合研修を実施する。

(2) 集合研修後に、稻作、畑作、野菜・花き及び果樹、酪農、肉畜及び飼料作物等の専攻制による高度の生産、経営技術習得の専門的、実践的学習を各専門学部の教場において行なう。

(3) 指導農業士等先進農家への派遣学習を3ヵ月行ない、近代的な農業経営の実際を体験することにより知識及び技術を深めるとともに、経営感覚を習得させる。

(4) 在家研修等を通じ、自家経営の分析から農業改良普及事業との連携のもとに営農設計の学習を行なう。

(5) 経営実践学習、先進農家派遣学習において生じた諸問題を踏まえ、地域の農業、農村の実態、自家の農業経営の問題点を客観的に把握、分析し、将来の営農計画を作成するための、総括学習を実施して2ヵ年の過程を終えて卒業することになる。

高等部

宮城教場における農場実習を主体とする実践的学習により、作物、園芸、畜産等農業全般または農家生活にかかる基礎的な教育を全寮制で実施し、新しい農業者として必要な豊かな教養と広い視野を養成する。

4. 学部等定員・入学資格・修業年限

表1. 学部等定員・入学資格・修業年限

学部等	入学定員	総定員	入学資格	修業年限
学部			学校教育法による高等学校を卒業した者及びこれと同等以上の学力があると知事が認めた者	
農産学部	20人	40人		2年
園芸学部	20人	40人		
畜産学部	15人	30人		
高等部	20人	40人	学校教育法による中学校を卒業した者	2年
計	75人	150人		

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獸医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獸医薬品株式会社

TEL ⑨ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩塩1

02202 (2) 2278-9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24

0236 (23) 9909-9900

古川営業所 古川市中里三丁目3-32

02292 (3) 6266-6267

学部等入学定員、入学資格、修業年限については表1に示したとおりであり、現在、本校には高卒課程の第1学年生として農産学部28名(定員20名)、園芸学部14名(定員20名)、畜産学部17名(定員15名)、中卒課程の高等部16名(定員20名)計75名(何れも修業年限2カ年、男女共学)、ほかに旧農学寮及び旧高等農業研修所から高等部への編入生33名合計108名の学生が在籍しており、各教場で専門的な学習を進めている。

(1) 本部(教務部)は名取市高館の農業センター内に併設され、各学部の集合研修の場所でもある。

(2) 農産学部は古川教場として、古川農業試験場内に併設され、稻作及び畑作の専門的技術または経営の実践的教育を担当している。

(3) 園芸学部は本部の所在地にあり、野菜・花き及び果樹の専門的技術または経営の実践的教育を担当している。

(4) 畜産学部岩出山教場は、玉造郡岩出山町の宮城県畜産試験場内に併設され、酪農、肉畜及び飼料作物の専門的技術または経営の実践的教育を担当している。

5 免許・資格

各学部毎に免許・資格が取得できる研修は表2のよう
に実施するものであり、かなりの数にのぼる。

表2. 免許・資格取得のための研修

免許資格	学部等	農産学部	園芸学部	畜産学部	高等部
(1) 大型特殊自動車運転免許(農耕用)	○	○	○		
(2) 小型特殊自動車運転免許(農耕用)					○
(3) けん引自動車運転免許(農耕用)	○	○	○		
(4) 農業機械士資格					
(ア) 一級技能	○	○	○		
(イ) 二級技能	○	○	○	○	
(5) 薬物・劇物取扱者資格(農業用)	○	○	○	○	
(6) 危険物取扱者(丙種)資格		○			
(7) ポイラー技士(2級)免許		○			
(8) ガス焰接技能者	○	○	○	○	

「畜試の仕事の三本柱の一つとして後継者育成に場員が全力を注いで努力したい」との歓迎のご挨拶をいただき優れた後継者となることを決意して、同教場での専門学習が開始されたのである。

(2) 通学学習：畜試の好意により、畜試内の古い建物（旧畜産練習生宿泊棟）を教室に改造して、講義、演習が開始された。当初は寮も不備であったために、古川教場の瑞穂寮で農産学部の学生と一緒に共同生活をし、農産学部と本部の先生方の絶大な応援によって、マイクロバスで朝夕にわたり、古川→岩出山教場まで輸送してもらって学習・実習にはげんだが、通学の時間制限から十分な実習もできなかつた。しかしその心配も解消する時期がやってきた。

(3) 習生活：9月16日からは、畜試の双葉寮（旧畜産練習生宿泊棟）の修復も終えたので、教場内の全寮生活が始まり、朝は7時30分からの家畜管理実習に意欲的に取り組み、専攻実習の成果は毎日向上したのである。

(4) 学習：畜産学部の専任の職員は2名、兼務1名の3名が教務職員であるが、専門の講義・実習指導には、畜試の専門の職員(15人)が担当し、プロジェクトの実施に当っても、献身的な指導がなされている。

52年11月5日に、畜試の本館が落成してからは、講義は本館の講義室を借用して行われている。

(5) 現在建設設計画中の諸施設

52年度に建設が予定されているのは、①宿泊棟（鉄筋コンクリート造二階建 $527.46m^2$ 1棟）、53年度からは、②研修棟（鉄筋コンクリート造一階建 $270m^2$ 1棟）、③草地造成（飼料草地 $10ha$ ）、④酪農畜舎（鉄骨造 $236m^2$ 成牛20頭）、⑤肉牛畜舎（鉄骨造 $278m^2$ 、30頭）、⑥養豚畜舎（鉄骨造 $726m^2$ 、繁殖豚20頭、肉豚330頭）、⑦その他現場教室、付属関連施設及び機械セット等が予定されているが、それらの諸施設の完成と実習用家畜の導入等整備強化の早期達成が強く待たれる。（宮畜試乳牛科長兼農業実践大学校教務主任）

6. 畜产学部岩出山教場の紹介

(1) 入場式：本部において3ヶ月間の集合研修後に、岩出山教場へ17名の学生（男子15名、女子2名）を迎える入場式を開催したのは7月4日であり、畜試場長からは

飼 料 は みのり

採卵鶏用配合飼料
プロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社
石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 02252(5)4171~4

畜産公害を追放する
家畜糞尿処理工事 畜舎工事
さくく井工事 畜舎工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事
株式会社 北辰技術
仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

うま年にちなんで 「名馬金華山号の由来について」

明治天皇の御乗馬金華山号についての記録は少なくなつたが、仙北新聞に載った佐藤幸右衛門（明治5年大口村大西生）の記録は金華山号について述べてあるのを要約すると次のようである。

金華山号は明治2年4月、栗原郡鬼首村（明治11年東郡に編入）に生れたが、これを飼養し育てあげたのは、飼主高橋七右衛門氏とその妻みよであった。

初めの名号は「記帳」と命名されて同3年10月に馬市に出され、栗原郡岩ヶ崎の馬喰である油屋丁吉が僅か5両で買取った。

金華山号は純粋の和種で体高は4尺9寸、毛色は栗色である。

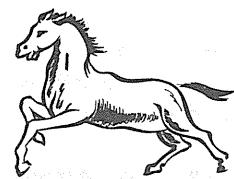
明治9年7月、明治天皇の御巡幸があり同3月岩手県水沢において警衛の任務について警部の乗った馬が、お供の駕者にその馬の優秀さを認められ、侍従片岡利和と相談して、購買され、名号を金華山と改められた。これを宮内省の調教師であった目賀田雅周氏が、馬のすぐれ

ているのを認めて調教して、明治18年7月初めて明治天皇の御乗馬となって以来26年迄の14年の長い間、数々の名馬としてのエピソードを残したが、28年6月23日老衰のためその一生を閉じたがその馬令は25才であった。

宮内省の御厩に遺骸及び剝製は保存されたが、後藤貞行氏は彫刻をし、五姓田由松氏は油絵とし神駿を後世につたえている。

後藤貞行氏は東京皇居前広場の楠公銅像の馬の原型製作作者で、木彫の金華山号は、鬼首荒雄神社境内の主馬神社にまつってあり、剝製は現在明治神宮の代々木荘に納められている。

（鳴子町役場農林課提供）



鶏糞無臭乾燥機

SD-100

SD-400

SD-700



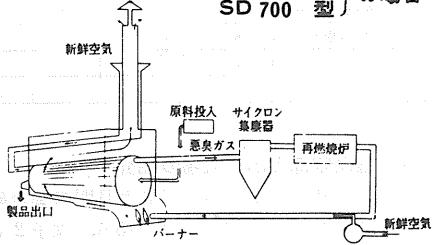
三菱機器販売株 仙台支社

仙台市扇町五丁目1-3

LET (022) 94-3281 代

無臭乾燥機の原理

SD 100K型 } の場合
SD 700 型 }



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物用品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本山形店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL 093121
仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL 094306
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL 0140963
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL 0246440300

こくておいしい大型びん…
森永 ハイカラウツノ牛乳

宮酪乳業株式会社

畜産団体紹介 (17)

団体名 宮城県酪農協会
代表者 会長 佐々木 林太郎
所在地 〒980 仙台市本町三丁目8-1
宮城県畜産課内
電話番号 0222-63-2111 内線735
会員数 22
主な事業

- 1 酪農会議の開催(生産者団体と乳業メーカーとの懇談会)
- 2 酪農推進事業(生乳品質改善、集送乳体制の整備強化、飲用牛乳の消費拡大、酪農諸問題についての提言、建議、陳情、会員に対する諸資料、情報提供)
- 3 乳質改善共励会への後援
- 4 酪農研修会の開催
- 5 酪農共済制度の推進
- 6 その他目的達成に必要な事業

畜産物の市況

種目	規格	単価	価格円	摘要
卵	A級	1 Kg	301円	卸売価格12月平均
ブロイラー	A級	1体1Kg	300	"
	上枝肉 1 Kg		716	"
豚肉	中	〃	670	"
	和牛メス	上	2,125	"
牛	和牛ヌキ	上	2,075	"
	和牛ヌキ	中	1,684	"
肉	乳牛メス	中	1,895	"
	乳牛ヌキ	中	1,807	"
和牛子牛		1頭	275,761	小牛田畜市場 1月平均
子豚		〃	20,579	12月平均

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格…県経済連調べ
和牛子牛、子豚…県畜連調べ

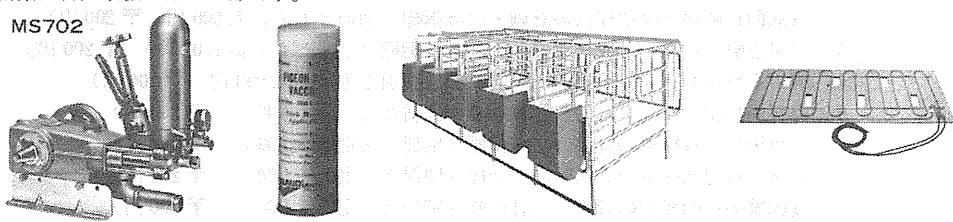
ユーザーの皆様と 畜産の発展に努力します

SEP 対策に **チオタール**®
広範囲合成抗菌製剤

＜豚流行性肺炎＞

【営業品目】取扱い品の一部です。

MS702



(株) 東和薬品

TEL (代表) 02202(2)-3727

賀

春

宮城県農業協同組合中央会長
 宮城県経済農業協同組合連合会長
 宮城県信用農業協同組合連合会長
 宮城県畜産農業協同組合連合会長
 宮城県農業共済組合連合会長
 宮城県生乳販売農業協同組合連合会長
 宮城県畜産開発公社理事長
 宮城県綿羊農業協同組合連合会会長
 宮城県草地協会会長
 宮城県獣医師会会長
 宮城県酪農協会会長
 宮城県ホルスタイン協会会長
 日本軽種馬協会宮城県支部長
 日本種豚登録協会宮城県支部長
 日本あか牛登録協会宮城県支部長
 全国和牛登録協会宮城県支部長
 宮城県肉用牛協会会長
 宮城県家畜畜産物衛生指導協会会長
 宮城県乳業協会会長
 宮城県家畜商協同組合長
 宮城県養鶏協会会長
 宮城県ホルスタイン改良同志会会長
 宮城県家畜人工授精師協会会長
 宮城県肉用牛価格安定基金協会会長
 宮城県畜産物価格安定基金協会会長
 宮城県畜産会長

加藤 武夫
 加藤 武夫
 加藤 武夫
 大石 武一
 小寺 誠毅
 小倉 春雄
 山本 壮一郎
 斎藤 荘次郎
 二瓶 泰助
 鈴木 新
 佐々木 太郎
 佐藤 利吉
 大石 一雄
 勝又 利吉
 加藤 武夫
 佐藤 利吉
 百井 一崇
 横山 吉
 佐藤 利吉
 大石 一夫
 岩谷 寿一
 鈴木 正太郎
 結城 栄吉
 山本 壮一郎
 加藤 武夫
 大石 一

(順不同)

新刊図書案内

- 草地型酪農経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,300円 ￥200円）
- 耕地型酪農経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,100円 ￥200円）
- 流通飼料依存型酪農経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,500円 ￥200円）
- 乳用去勢牛哺育・育成経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,000円 ￥200円）
- 乳用去勢牛肥育経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,000円 ￥200円）
- 肉専用牛繁殖経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,000円 ￥200円）
- 肉専用牛肥育経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,300円 ￥200円）
- 養豚肥育専門経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,300円 ￥200円）
- 養豚繁殖専門経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,000円 ￥200円）
- 養鶏採卵専門経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,000円 ￥160円）
- 養鶏育成採卵一貫経営の計画・設計指標（別冊とも定価1,600円 ￥200円）

お申込みは、宮城県畜産会へ